九重町 議会だより

もくじ

●令和７年度当初予算
主な事業・補正 …… P2
●議案リスト・臨時議会（1/27、2/14）…… P3
●当初予算質疑・人事案件 …… P5
●議長挨拶・新体制紹介 …… P6
●総務建設産業常任委員会審査報告 …… P7～P8
●教育民生観光常任委員会審査報告 …… P9
●活動報告（日出生台日米共同訓練視察 外）… P10
●一般質問（４名） …… P11～P14
●きらり★ここのえ人
（南山田　安達 誠さん）… P15
●バトンをつなぐ（野上地区）・編集後記 …… P16

～きらり★ここのえ人～
安達 誠さん

令和７年度当初予算 決定

一般会計　87億6,200万円

（対前年比　5,800万円減　0.7%減）

特別会計総額　32億4,534万1千円

特別会計内訳

国民健康保険	14億2,522万９千円	介護保険	15億4,418万４千円
飯田高原診療所	6,871万１千円	後期高齢者医療	2億　721万７千円

全会計　120億734万1千円

公営企業会計（簡易水道事業会計）

区　分	予算額	区　分	予算額
収益的収入	1億4,335万2千円	資本的収入	3,987万5千円
収益的支出	1億8,890万9千円	資本的支出	6,206万4千円

主要事業

書曲改良住宅建替事業	２億7,299万円
基幹系業務システム標準化・共通化	１億7,949万円
隣保館トイレ改修事業	7,356万円

令和６年度補正予算

◎一般会計

補正額	△4億5,178万6千円
補正後額	90億3,333万3千円

◎特別会計

	補正額	補正後額
国民健康保険	△204万7千円	14億6,631万7千円
飯田高原診療所	△458万4千円	6,973万2千円
介護保険	2,744万5千円	16億　216万3千円
後期高齢者医療	△392万6千円	2億　299万7千円

第１回九重町議会定例会「令和7年3月3日～21日」

議案番号	件　　名	付　託	結　果
議案第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同 意
議案第11号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第12号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第13号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第14号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第15号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第16号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第17号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第18号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第19号	九重町農業委員会委員の任命について		同 意
議案第20号	職員の給与に関する条例の一部改正について	総務建設産業常任委員会	可 決
議案第21号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について		可 決
議案第22号	（取り下げ）町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について		－
議案第23号	職員の特殊勤務手当に関する条例の全部改正について		可 決
議案第24号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		可 決
議案第25号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		可 決
議案第26号	職員の給与の特例に関する条例の一部改正について		可 決
議案第27号	各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について		可 決
議案第28号	課設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		可 決
議案第29号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		可 決
議案第30号	ここのえ“夢”ブランド創造協議会条例の廃止について		可 決
議案第31号	九重町いきいきふるさと若者定住促進条例の一部改正について		可 決
議案第32号	九重町地域公共交通活性化会議設置条例の制定について		可 決
議案第33号	九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について		可 決
議案第34号	九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部改正について		可 決
議案第35号	訴えの提起について		可 決
議案第36号	九重町水道施設整備補助条例の一部改正について		可 決
議案第37号	道路廃止について		可 決
議案第38号	道路認定について		可 決
議案第39号	九重町森林委員会設置条例の一部改正について		可 決
議案第40号	九重町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可 決
議案第41号	九重町予防接種負担金徴収条例等の一部改正について		可 決
議案第42号	九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について		可 決
議案第43号	九重町観光地域づくり法人設立委員会設置条例の廃止について		可 決
議案第44号	ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について		可 決
議案第45号	九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可 決
議案第46号	九重町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可 決

議案番号	件　　名	付　託	結　果
議案第47号	令和６年度九重町一般会計補正予算（第12号）		可 決
議案第48号	令和６年度九重町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		可 決
議案第49号	令和６年度九重町飯田高原診療所特別会計補正予算（第4号）		可 決
議案第50号	令和６年度九重町介護保険特別会計補正予算（第４号）		可 決
議案第51号	令和６年度九重町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）		可 決
議案第52号	令和６年度九重町簡易水道事業会計補正予算（第４号）		可 決
議案第53号	令和７年度九重町一般会計予算		可 決
議案第54号	令和７年度九重町国民健康保険特別会計予算		可 決
議案第55号	令和７年度九重町飯田高原診療所特別会計予算		可 決
議案第56号	令和７年度九重町介護保険特別会計予算		可 決
議案第57号	令和７年度九重町後期高齢者医療特別会計予算		可 決
議案第58号	令和７年度九重町簡易水道事業会計予算		可 決
請願第１号	子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書提出に関する請願書	教育民生観光常任委員会	採 択
議員提出議案			
発議第１号	九重町議会委員会条例の一部改正について		可 決
発議第２号	子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書について		可 決
追加議案			
議案第59号	工事請負変更契約の締結について		可 決
議案第60号	町長、副町長及び教育長の給与に関する条例等の一部改正について		可 決
議案第61号	令和６年度九重町一般会計補正予算（第13号）		可 決

第１回臨時会「令和7年1月27日」

議案番号	件　　名	結　果
議案第１号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第２号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議案第３号	令和６年度九重町一般会計補正予算（第10号）	可 決
議案第４号	令和６年度九重町飯田高原診療所特別会計補正予算（第３号）	可 決
議案第５号	令和６年度九重町介護保険特別会計補正予算（第３号）	可 決
議案第６号	令和６年度九重町簡易水道事業会計補正予算（第３号）	可 決

第２回臨時会「令和7年2月14日」

議案番号	件　　名	結　果
議案第７号	工事請負変更契約の締結について	可 決
議案第８号	令和６年度九重町一般会計補正予算（第11号）	可 決
議案第９号	監査委員の選任について	同 意

定例会質疑応答

議案第53号 令和7年度一般会計予算

増田裕子議員

Q 新規事業である「ここのえ未来創造若者地元就職支援金」450万円の詳細は。

A おおむね30歳未満を対象とし、これまでのあとつぎ促進奨励金事業も統合して、移住・定住・就業支援を行う。金額は対象により変わる予定。

Q「地方公共団体情報システムの標準化・共通化」事業、1億8千万円近くの大きな事業だが、期間と今後の経費は。

A 地方自治体の情報システムの標準化・共有化を進める事業で、来年度中に18業務（基幹系業務システム、戸籍・国民健康保険関連、公金収納対応等）を完了する予定。ガバメントクラウド利用料が年間6、250万円かかる。

岩尾茂樹議員

Q 大吊橋使用料を値上げして、小中学校の給食費無償化や農業、商工業等における補助金等による支援を拡充することはできないか。（使用料を100円値上げすると約4千万円の収入増が見込まれる、給食費の保護者負担は小中学校合わせて約2千5百万円である）

A 今は何かのための値上げは考えていない、将来においては検討が必要になるかもしれない。給食費の無償化については、国の動向等を見て検討しなければならないと考えている。

Q 地域づくり推進事業補助金（19、240千円）がまちづくり協議会への補助金として計上されているが、地域が主体となってまちづくりを推進することは望ましいことだと思うが、役場の事業の丸投げになっては良くないと考える、行政としてどのように関わっているか。（事務補助等含め）

A 各協議会では事務担当者を雇用しており、事務等も含め協議会で対応できていると思っている。現在も行っているが、連絡会議等を通じて要請があれば支援したいと考えている。

討論

反対討論

一円でも収入を増やし、一円でも補助金等の支援を拡充すべきと考える。また、その余地はあると思うため、本予算案に反対する。

議案第53号　令和７年度九重町一般会計予算　　採決結果　　※議長は採決には加わりません。

岩尾	矢野	河野	佐々木	岐部	野上	増田	有吉	大津留	土井	菅原
反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対

人事案件 10件 同意

固定資産評価審査委員会委員
菅原　篤さん（菅原本村）

九重町農業委員会委員
佐藤　暁史さん（相狭間）

九重町農業委員会委員
飯田祥治朗さん（湯沢）

九重町農業委員会委員
佐藤　優子さん（滝上）

九重町農業委員会委員
衞藤　眞弓さん（奥双石）

九重町農業委員会委員
仲摩　茂敏さん（下旦二）

九重町農業委員会委員
小田稲次郎さん（梶屋）

九重町農業委員会委員
平　祥尚さん（書曲二）

九重町農業委員会委員
佐々木洋子さん（後辻）

九重町農業委員会委員
矢方　盛士さん（中村中二）

議長就任にあたって

議長　佐藤　明郎

この度、二月の臨時議会により、議長の大役を担うこととなりました。課題山積の中、重責に身の引き締まる思いです。

全国的な課題でもあります少子高齢化・人口減少は九重町の将来を大きく左右する課題であります。

議会としましても、この人口減少の中、議員定数、なり手不足などの議論を進めておりますが、特にこの一年間は、議員の定数・報酬・議会のあり方について、直接多くの町民の皆様と意見交換の場を設け、皆様の意見を参考にさせていただきたいと思います。

少人数の集まりでも構いませんが、皆様のところに議員が出向きますので、是非ともご意見を頂ければ幸いです。

町民の意思を代表する機関が議会であります、このような取り組みを通じ、身近な存在としてすべての町民が安心して暮らせるように、全議員で取り組んでまいります。

皆様のご理解ご協力をお願いいたしまして挨拶といたします。

新体制紹介

正副議長

職名	氏名
議長	佐藤明郎
副議長	岩尾茂樹

議会運営委員会

職名	氏名
委員長	岐部俊哉
副委員長	菅原美好
委員	土井眞一郎
委員	有吉富生
委員	増田裕子
委員	野上香代子

議会のあり方検討特別委員会

議長を除く全議員（11名）

職名	氏名
委員長	岐部俊哉
副委員長	増田裕子

総務建設産業常任委員会

職名	氏名
委員長	野上香代子
副委員長	矢野春美
委員	佐藤明郎
委員	菅原美好
委員	土井眞一郎
委員	大津留敏加

日出生台演習場対策特別委員会

職名	氏名
委員長	野上香代子
副委員長	佐々木信介
委員	有吉富生
委員	岐部俊哉
委員	河野克輝
委員	矢野春美

教育民生観光常任委員会

職名	氏名
委員長	増田裕子
副委員長	佐々木信介
委員	岩尾茂樹
委員	有吉富生
委員	岐部俊哉
委員	河野克輝

議会広報特別委員会

職名	氏名
委員長	矢野春美
副委員長	河野克輝
委員	土井眞一郎
委員	増田裕子
委員	野上香代子
委員	佐々木信介

総務建設産業常任委員会　審査報告

議案 19件

「委員会に付託を受けた下記19議案は全て可決となりました」

議案第20号「職員の給与に関する条例の一部改正について」

配偶者に係る扶養手当を廃止し子に係る扶養手当を増額する。
管理職員特別勤務手当について平日深夜勤務に対する手当の対象時間帯を拡大する。
再任用職員の住居手当を支給する。

議案第21号「職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について」

心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合「医師２人を指定し診断を行わせる」を「原則医師２人」に改正を行う。

議案23号「職員の殊勤務手当に関する条例の全部改正について」

町税の賦課徴収事務に従事する職員・保健予防に従事する保健師・家畜診療に従事する獣医師は支給対象となる職員がいないことから特殊勤務手当を廃止し新たに災害発生時等に職員が従事する現場業務が該当する災害応急作業等に従事する職員に対する特殊勤務手当を設置する。

議案第24号「職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」

非常勤職員の「育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正により、「介護をするための時間」が規定されている項が変更する。

議案第25号「職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」

育児を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限について、対象の子の年齢を３歳に満たない子から、小学校就学の始期に達するまでの子へと改正する。
配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員に対して意向を確認するための面談等の措置を講ずる。

議案第26号「職員の給与の特例に関する条例の一部改正について」

令和７年４月１日から令和８年３月31日までの間、職務の級別に、６級2.5%、７級5.0%のカットを行う。

議案第27号「各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について」

「農業委員会委員」、「農業委員会農地利用最適化推進委員」及び「教育委員会委員」の報酬の改正と、併せて「各種委員の報酬や費用弁償の支給方法」の見直しや委員会の廃止、名称変更、新設に伴う改正を行うもの。

議案第28号「課設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」

令和７年４月１日からの組織機構改革に伴い課名の変更が生じたため関係条例の整理をする。

議案第29号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」

刑法等の一部を改正する法律が令和７年６月１日に施行されることに伴い、懲役及び禁錮刑が新たに拘禁刑として単一化されたため当町の条例の規定中「懲役」及び「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

議案第30号「ここのえ“夢”ブランド創造協議会条例の廃止について」

協議会にて協議を重ねたが、期待された波及効果が十分に得られず、自治体主導のブランド戦略よりも柔軟な民間の取り組みがより有効であると考え、廃止する。

議案第31号「九重町いきいきふるさと若者定住促進条例の一部改正について」

定住促進奨励金の給付、地域づくり推進事業については廃止するものの、認定を受けた方については最大交付期間である36か月までは予算措置を行う。また、民間賃貸住宅家賃助成事業について見直しを行う。

議案第32号「九重町地域公共交通活性化会議設置条例の制定について」

「九重町地域交通協議会」と「九重町地域公共交通会議」を統合し「九重町地域公共交通活性化会議」を新たに設置する。

議案第33号「九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について」

「民間集会施設有効活用事業補助金」「九重文化センター駐車場攻修事業」「庁舎大規模改修事業」の３点を追加する。

議案第34号「九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部改正について」

条例で引用している同法の規定が項ずれすることに伴い、規定の整備を行う。

議案第35号「訴えの提起について」

町営住宅に係る建物明渡等請求に係る訴えを提起する。

議案第36号「九重町水道施設整備補助条例の一部改正について」

補助対象を給水戸数２戸以上としていたが、地域の構成世帯の減少などにより１世帯となった場合などには補助対象外となってしまう為、改正では１世帯から補助対象とする事、また、少額な申請の増加を考慮して、事業費の総額を10万円以上としている。

議案第37号「道路廃止について」

町道滝上線（493.64m）は、滝上第２橋付近の県河川工事時に設置した仮設道路を町道として追加認定するため、道路起点が変更となることから、現町道を一旦廃止する。

議案第38号「道路認定について」

「滝上線（たきがみせん）」及び「下宝支線（しもたからしせん）」は町道認定を求める陳情書が提出され、議会において採択されている。

議案第39号「九重町森林委員会設置条例の一部改正について」

九重町森林委員会の委員の定数を10人以内とし森林整備計画の樹立及び変更、森林・林業に関し必要な事項に直接関連するものではない為、農業委員会会長の名称を削除し、会の議長を会長が務めることを明記する。

教育民生観光常任委員会

審査報告

議案 7件　請願 1件

議案第41号「九重町予防接種負担金徴収条例等の一部改正について」

帯状疱疹ワクチン接種が「定期予防接種」に位置付けられます。65歳及び60歳以上65歳未満で重症化のリスクの高い方を対象に予防接種を実施するための改正です。

議案第42号「九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について」

骨粗鬆症の検査費用が上がったことから、負担金を

40歳以上の女性＝2,500円→3,050円

男性＝3,850円→4,400円　と改めます。

ただし40、45、50、55、60、65、70歳の女性の検査については今まで通りで、差額は町が負担します。

骨粗鬆症は急激に進行するものではないので、皆さんポイントの年齢で積極的に検査を受けましょう。

議案第44号「ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について」

ひとり親家庭医療費助成制度を受けるための所得限度額が引き上がります。

他４件の議案（条例の一部改正・廃止）を審議しました。

子どもたちのゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書提出に関する請願

（大分県教職員組合玖珠支部　執行委員長　藤本貴裕氏提出）

学校現場での人員不足と長時間労働は深刻であり、子どもたちの学びにも大きく影響を与えている現状から、請願を採択し、九重町議会から国の関係機関に以下の内容で意見書を提出することにしました。

1．長時間労働の一因となっている給特法について、教員のいのちと健康が守られるよう見直しを検討すること。

2．学習指導要領の内容の精選や標準授業時数の削減等を行うとともに、部活動の地域移行をさらにすすめること。

3．子どもたちの学びの充実や教育環境の整備にむけ、人の配置・確保も含め、必要な財源確保等を行うこと。

2/22～23 日米共同訓練説明会及び訓練視察報告

２月22日　日出生台演習場で、沖縄に駐留するアメリカ海兵隊による実弾射撃訓練射撃が2月27日から11日間、約430人の隊員が参加して行われる予定であり、訓練に先がけ、地元自治体・報道関係等対象に事前説明会がありました。スコット少佐が「この訓練は最も重要な実践的訓練で日米合意に基づき実施する」と、訓練への理解と協力を求めました。

２月23日　実弾射撃訓練前に、使用する武器等が展示公開され、射撃距離や役割などの説明を受け理解を深めました。

※２月22日～ 23日　日出生台廠舎（しょうしゃ）（宿泊施設）で行われた事前説明会に、日出生台演習場対策特別委員会から参加をしました。

3/7 ここのえ緑陽中学校卒業式

ここのえ緑陽中学校卒業式が九重文化センターで行われました。

78名の卒業生一人ひとりが証書を手にし、未来への決意を新たにしました。

卒業生を代表して、佐藤守生さんが、「この中学で過ごした日々が一生忘れられない思い出となった。これからも支えてくださった方々への感謝を胸に、新たな挑戦に向けて努力をし続けます。」と力強い言葉を述べました。

卒業生による合唱では、感謝とエールの気持ちが込められた温かいメッセージが響き渡り、涙する卒業生も見られました。

これから新しい道を歩く彼らの前途が輝かしいものであることを願っています。

町政を質す 一般質問

4名の議員が質問

矢野 春美

予想以上に進む人口減少、担い手の空洞化!
若者世代の移住、定住政策及び住宅の問題を問う

関係人口からの移住、定住

矢野 九重町居住ではないが、観光以上の深い関わりや、地域の人々と多様に関わる関係人口が増えることで移住に繋がると思うが、新たな施策はあるか。

小田まちづくり推進課長 登山や温泉、キャンプやサイクリングなどのアウトドアアクティビティ等を軸に、住民との交流ができる体験ツアーなどで、定期的に町を訪れたくなるようなリピーター確保、特産品の定期販売などで継続的な関わりの持てる環境の整備をしていきたい。

矢野 玖珠町でも2拠点居住者へ空き家をリノベーションするなど住居確保の支援策が整備されている。九重町では移住希望者が空き家バンクで探してもすぐに住める物件がないとの声があり、町がリノベーションして貸し出す事業が求められている。考えは。

※リノベーション…大規模な改修工事を行うことで、性能や間取り、デザインを刷新し、新たな価値を生み出すこと。

日野町長 課題が多くあるが、いろんな意見、地元の声を聞かせていただきながら政策につなげていきたい。

若い世代が定住できる住宅環境

矢野 地元の若い子育て世代からも、好きな九重町で暮らしたいが住宅がないという声がある。また南山田地区にはこども園、小学校があるが町営住宅はない。子育て世代が安心して定着できるよう、若い世代に向けた住宅の建設をお願いしたい。

日野町長 今回、釣住宅の土地造成をして販売の準備をしている。その販売状況も見ながら、新たに整備ができるところも探しつつ政策に活かしていく。

有機農業の若者関係人口

矢野 九重町で有機農業をやりたい若者を受け入れる基盤を作ることで、担い手も人口も増えると思われるが、考えは。

藤野農林課長 短期間の農業研修の助成などもしているが、いただいた意見を参考に今後につなげていきたい。

親日国モンゴルとの交流

矢野 若い世代の多いモンゴルとの交流は、農業・観光などの将来の関係人口となるよう大切に続けていってほしいが考えは。

志賀社会教育課長 将来、地域活性化につながる交流を継続していきたい。

“幸せな地域づくり”
町民が一番光り輝くために、町ができることを提案したい
今暮らしている住民が、九重町を大好きで、楽しく元気に暮らせる町づくりを具体的に

増田　裕子

増田　今年の施政方針にもある、町民の「幸福度」を上げる具体的な取り組みは。

小田まちづくり推進課長　①住民が日々の生活で安心や充実を感じられる環境づくり（福祉、子育て支援、教育環境、住民交流、コミュニティ形成）②地域経済の活性化と安定した雇用（農業、観光、商工業の振興を通じた地域経済の基盤強化）③地域の魅力発信と移住定住促進（町内外から選ばれる町）3つの要素を軸に取り組む。

増田　町民の幸福度を高めるための提案①町内の子どもたち（未成年）に吊橋のフリーパスを配る②町の魅力を情報発信してくれる町民には町有施設利用の「応援パス」を付与するのはどうか。

吉光商工観光・自然環境課長　今年から町民の日は吊橋を、無料開放した。（今年実績町内利用者28名）提案には、調査・研究を進めていきたい。

幸せな地域づくりに役場職員の役割は非常に重要
地域の活動に参加することも研修の一環としては

増田　まず職員が町を知り、町を好きであることが大事。現在新人研修はどのように行っているか。
　また、人材不足を補うためにも、中途採用などを積極的に考えられないか。

竹尾総務課長　年4日、基礎研修等を実施しているが、町を知る研修は近年行っていなかったので、令和7年度からは1日程度実施していきたい。中途採用は、全国の市町村1,722団体中1,036団体がすでに導入している。導入の可能性は探っていきたい。

子供を取り巻く環境について

増田　町内での虐待やヤングケアラー等の状況と町としての対応は。

穴井子育て支援課長　現在15世帯26名、ヤングケアラー4名と把握している。要保護児童対策地域協議会や実務者会議等に加え、令和6年度からこども家庭センターを設置し、積極的に連携を取りながら早期発見と支援に取り組んでいる。

SNS相談窓口

家族（かぞく）のお世話（せわ）をしていることで
・自分（じぶん）の時間（じかん）がとれない
・友（とも）だちと遊（あそ）ぶことができない
・眠（ねむ)る時間（じかん）が足(た）りない
・学校（がっこう）に行（い）けない
などの困（こま）りごとがありませんか？

増田　来年度から高校進学時への支援事業が計画されているが、中学入学時も保護者の経済的負担は大きい。制服等のリユースを取り組めないか。

時松教育長　現在、緑陽中学校で行っているが、数が揃わない等の問題が色々ある。今後広く周知して、なるべく多く集められるよう努力したい。

増田　2月の寒波時に町水道の節水呼びかけや夜間断水があったが、町水道の状況は。

武石建設課長　飯田と野上水系の配水池の水位が低下した。ほぼ全戸の町水道利用者の水道メーターを確認し漏水調査をし対応した。今後さらに凍結対策の呼びかけを行いたい。令和5年度に大分県が人工衛星による漏水調査を行ったが、町として次回も参加したいと考え、要望もしていく。

町政を質す 一般質問

野上　香代子

デマンド型(※)のココバス 利便性を周知徹底して町民に便利である事をしっかり伝え、もっと活用してほしい

(※)利用者の要求に応じて運行すること

ココバスについて

野上　ココバスは登録をしないと使えない交通手段です。現在の登録者数は。

小田まちづくり推進課長　3月7日現在、510名。
サロンで説明するたびに増えている状況。

野上　1日に平均どのくらいの方が利用しているか。

小田まちづくり推進課長　10月の運行開始以来4か月が経ち、延べ1,363名の方が利用、1日平均にすると11.6名の方が利用している。

野上　どのような利用方法が多いか。

小田まちづくり推進課長　主に買物や通院利用。

野上　定時定路線の玖珠観光バスも粟野バス停から玖珠町塚脇までならココバス料金で利用できる事の周知は。

小田まちづくり推進課長　路線バスへの乗り継ぎや縦断線への乗り継ぎを利用し、玖珠まで行く方が増えている状況があり、徐々に浸透している。

ふるさと納税について

野上　近年の推移は。

小田まちづくり推進課長　過去3年の推移。

年度	件　数	金　　額
令和３年度	10,054 件	111,761,000 円
令和４年度	15,959 件	217,816,000 円
令和５年度	13,940 件	232,607,000 円

野上　返礼品で好まれているものは。

小田まちづくり推進課長　件数では肉、酒、米、果物。金額での順位は宿泊ギフト、米、果物である。

野上　体験型の返礼品の考えは。

小田まちづくり推進課長　現在、返礼品として登録されているものもある。返礼品については、取り組みの出来る事業者と検討・協議し、魅力的な商品開発に努めていきたい。

組織機構改変について

野上　組織機構改変の効果は。

竹尾総務課長　目的は、業務の効率化や最適化、そして住民へのサービスの向上である。

6 課が改変され 5 課へ

住民課	住民環境課
子育て支援課	地域共生支援課
健康福祉課	健康・子育て支援課
まちづくり推進課	未来デザイン推進課
情報デジタル推進課	観光・地域振興課
商工観光・自然環境課	

詳しくは広報ここのえ２・３月号をご覧下さい

施政方針について

野上　幸福度と選ばれる町にするという真意は。

小田まちづくり推進課長　様々な観点から地域の課題に向き合い、住民一人ひとりに寄り添った事業の展開と取組みに努め、皆さんが日々の生活の中で幸福を実感できる町を目指す。その結果、町内外の方に選んでもらえる町づくりにつながると考えている。

こども園の民営化について

野上　こども園の民営化の現状と今年度の計画は。

穴井子育て支援課長　町内法人での対応が困難で、現在は町外の有資格法人等で協議を進めている。

日野町長　民営化をするべき時はきている。進めるにあたり、あらゆる部分において慎重にやらなければならないことが多く、進めていないわけではない。

みつばこども園

生徒児童数減少を控え 学園構想の未来形は考えているのか

……教育委員会～令和7年度より
「小学校のあり方検討委員会」を立ち上げる

岐部　俊哉

令和の時代を生きる! 第21弾「人づくり」は「町づくり」

九重町 年度毎出生数・年齢学年別人口：2025年2月末現在　（令和６年以降の小中学校生徒数は推計）

	和暦	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19
	西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
	出生数	50	75	57	42	42	35	34	24	31													
	1		50	75	57	42	42	35	34	24	31												
	2			50	75	57	42	42	35	34	24	31											
	3				50	75	57	42	42	35	34	24	31										
	4					50	75	57	42	42	35	34	24	31									
	5						50	75	57	42	42	35	34	24	31								
	6							50	75	57	42	42	35	34	24	31							
小１	7	84	61	76	63	66	63	64	44	75	57	42	42	35	34	24	31						
小２	8	77	82	61	76	62	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31					
小３	9	70	74	81	60	75	61	64	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31				
小４	10	74	67	73	81	60	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31			
小５	11	64	71	68	72	82	61	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31		
小６	12	70	62	70	70	72	80	59	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31	
児童総数		439	417	429	422	417	404	389	378	380	374	350	326	295	285	234	208						
中１	13	68	63	59	72	70	71	78	57	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24	31
中２	14	71	66	62	59	71	69	72	78	57	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34	24
中３	15	79	70	66	62	59	72	69	72	78	57	73	63	66	66	66	44	75	57	42	42	35	34
児童総数		218	199	187	193	200	212	219	207	208	193	202	195	198	176	185	176	174	141	119	111	93	89

岐部　これまで児童生徒とその保護者に対するここのえ学園のあり方に対してアンケートの実施状況は。

友松教育振興課長　平成20年に児童生徒と保護者200名と保護者以外の方200名を対象に学校再編のアンケートを実施した後は実施していない。

岐部　小規模・過小規模の学校のメリット・デメリットとその克服方法は何か。

友松教育振興課長

【 メリット 】

①きめ細やかな学習指導や生活指導ができている

②教員の目が届きやすく、いじめ等未然に防げる

③教育活動において全員が主人公になる

④異年齢間の児童・生徒が交流でき協同した集団活動ができやすい

【 デメリット 】

①クラス替えができない為、人間関係が固定化されてしまう

②切磋琢磨する機会が少ない

③運動会・文化祭・遠足・修学旅行他集団での活動の教育的効果が薄まる

【 デメリットの克服方法 】

①山村留学等の導入等で児童生徒が様々な価値観と出会う機会を増やしていく

②タブレットを利用したオンラインでの生徒間交流

③他地域の学校と学校間ネットワークを構築し、スクールバス等を活用し定期的に互いの学校を訪問して、合同学習や合同行事を行う

④地域の教育力を学校に投入する

きらり☆ここのえ人

ブルーベリー栽培個人経営農家

安達（あんだち）　誠（まこと）さん（引治富迫下）

グローバルGAP認証を受けたことを示すライセンス

剪定作業の様子

ブルーベリー市場に可能性を見出す

Q ブルーベリー栽培に参入したきっかけは？

【安達さん】父が少量植えていたのですが、当時まだメジャーではなかったブルーベリー市場に可能性を感じました。九重町の推奨もあり、また、オシャレなイメージも気に入っていました。

国際基準認証取得

Q 2013年に国際基準認証を取得されましたが、どんな考えから？

【安達さん】農業に携わるのが遅かったので、積み重ねた経験値やバックグラウンドがない。それを補うには切り口を変えてどうあるべきかを考えました。小売業側の条件としてグローバルGAP認証取得が必須であったので、取引につなげるためにコツコツ取り組みました。

大分県農業賞最優秀賞を受賞

Q 今回、大分県農業賞最優秀賞を受賞されましたが、今のお気持ちは？

【安達さん】大変ありがたいです。やはり百姓は一人ではできません。今回家族で賞をいただきましたが一番大事なのは地域とのつながりです。地域や町内、いろいろな部会の方々との関わりのお陰と感謝しています。

九重町に「農家のプロ」を

Q これからの夢や目標は？

【安達さん】10年近く前から、小学校5年生を対象に、毎年ブルーベリーの収穫体験と農業の話をする活動をしてきています。将来、九重町で『農家のプロ』を目指す子どもたちが出てきてほしいですね。

そして、そんな日がきた時、恥じない先輩になりたい。それを目標に生きていきたい、と思っています。

ポテンシャルのある九重町を発信

Q 九重町に思うことは？

【安達さん】生まれ育ってきたところ、これからも家族で生きていくところで思い入れがある。住んでいる人が幸せを感じられる、住みやすい町であってほしい。

どこへ行っても「九重町ってすごいところやねー！」と言われるよう、ポテンシャルのある九重町をもっと発信してほしいですね。

お母様、スタッフの皆様と

より良い九重町へと議会へ期待

Q 議会についての意見は？

議会との距離感は？

【安達さん】町民の意見を代弁してもらって、より良い九重町にと期待しています。

議員との意見交換などができることで、議会のことも身近に感じます。

〔感想〕普段もの静かな安達さん。実は「信念」と「情熱」の塊の「ここのえ人」でした。

傍聴へどうぞ　次回は6月です

編集後記

今年に入り、世の中は目まぐるしく動いています。

2月より議会も新体制となり、広報委員会も新たなメンバー構成となりました。改めて新しい委員とともに、議会をより身近に感じていただけるように取り組んで参ります。

本号より、新しい企画として「きらり★ここのえ人」をスタートしました。九重町で暮らす皆様の活動やエピソードを紹介し、地域の魅力や活力、また九重町への思いなどをお届けできれば幸いです。

引き続き、ご支援とご意見をよろしくお願いいたします。

矢野　春美

広報委員長　矢野　春美
副委員長　河野　克輝
委員　土井眞一郎
委員　増田　裕子
委員　野上香代子
委員　佐々木信介

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76−3814】

令和7年4月17日
発行／九重町議会　編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メール（議会事務局）gikai@town.kokonoe.lg.jp